

SQ シリーズ SR シリーズ

電子料金はかり

取扱説明書

SQ-6K / SQ-15K / SQ-30K
SR-6K / SR-15K / SR-30K

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

注意事項の表記方法



この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2009 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

目次

1.	はじめに	2
1-1.	はじめに	2
1-2.	開梱	3
1-3.	各部の名称.....	4
1-4.	設置	5
1-5.	操作パネル.....	6
2.	はかりとしての基本的な操作	7
2-1.	電源オン/オフ	7
2-2.	ゼロ	7
2-3.	風袋引き	8
3.	操作方法	10
3-1.	料金を計算する	10
3-2.	料金の加算 / おつり計算	12
3-3.	かけ算機能.....	16
4.	各種設定方法	18
4-1.	PLUメモリー設定	18
4-2.	消費税率の設定	19
5.	内部設定	20
5-1.	内部設定を変更する/確認する	20
5-2.	内部設定一覧.....	21
6.	鉛バッテリー	22
7.	保守.....	24
7-1.	お手入れ	24
7-2.	エラー表示.....	24
8.	仕様.....	25
8-1.	仕様.....	25
8-2.	オプション.....	25
8-3.	外形寸法図.....	26
9.	使用地域一覧	27

1. はじめに

1-1. はじめに

SQ/SR シリーズは、「取引・証明」の計量に使える適合証印付きの電子料金はかりです（検定証印付きと同等です）。使用する上で以下の点にご留意ください。

使用地域の制限

取引・証明に使う場合、それぞれのはかりに定められた使用地域でお使いください。使用地域は、本体側面に貼られた銘板に、重力加速度の範囲として表記されています。実際の地域は、この重力加速度の範囲と取扱説明書末尾の“9. 使用地域一覧”で確認してください。

使用範囲

取引・証明に使う場合、ひょう量と最小測定量の範囲内でお使いください。それらは、店側表示部右上や客側表示部下の表記で確認できます。

定期検査

継続して取引・証明に使うためには、2年ごとの定期検査を受ける必要があります。定期検査については、お買い求めの販売店、またはお近くの各都道府県計量検定所までお問い合わせください。

校正

適合証印・検定証印付きの計量器は、ユーザご自身で校正を行うことはできません。定期点検等をご希望の場合には、お買い求めの販売店、または弊社ばかり・天びん相談センターにご相談ください。

使用温度範囲

本器は、使用温度範囲内でお使いください。使用温度範囲は、本体側面の銘板で確認できます。また、“8-1. 仕様”にも記載されています。

⚠警告 修理

ケースを開けての修理は、サービスマン以外に行わないでください。保証の対象外になるばかりか、機器を損傷したり火災の原因となったりします。

機器の異常

機器に異常が認められた場合は、速やかに使用をやめ、「故障中」であることを示す貼紙を機器につけるか、あるいは誤って使用されることのない場所に移動してください。そのまま使用を続けることはたいへん危険です。なお、修理に関しては、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

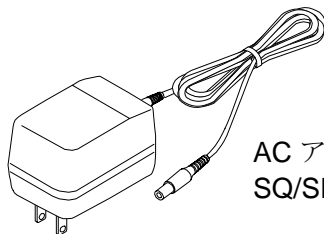
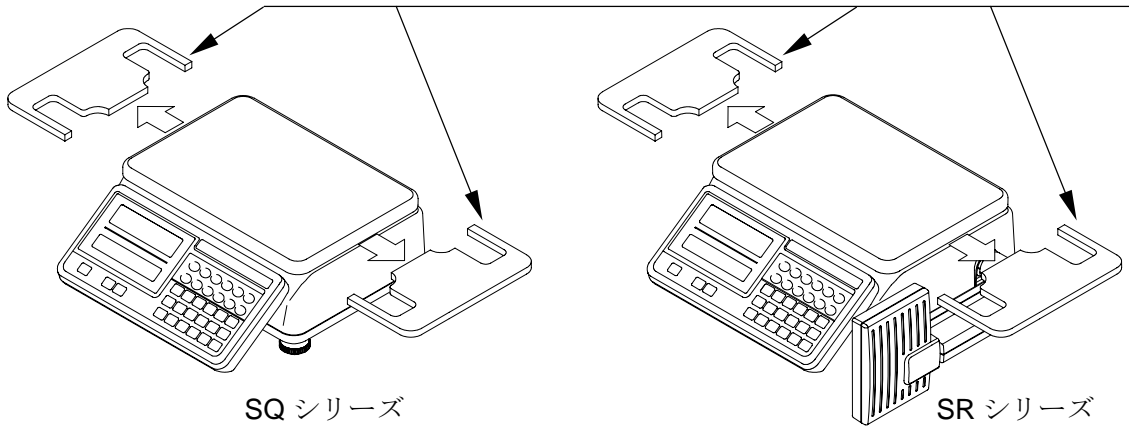
⚠注意 故障を避け、正しく量るための注意事項です。

ひょう量以上のものをのせないでください。（過荷重禁止）
ものをのせるとき、衝撃を避けてください。（衝撃荷重禁止）
計量皿の中央に計量物をのせてください。（偏荷重注意）

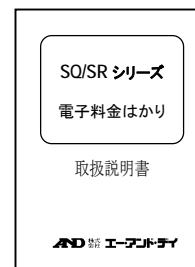
1-2. 開梱

□ 梱包箱より注意深く取り出し、下記内容を確認してください。

緩衝材



AC アダプタ TB-162A
SQ/SR シリーズ



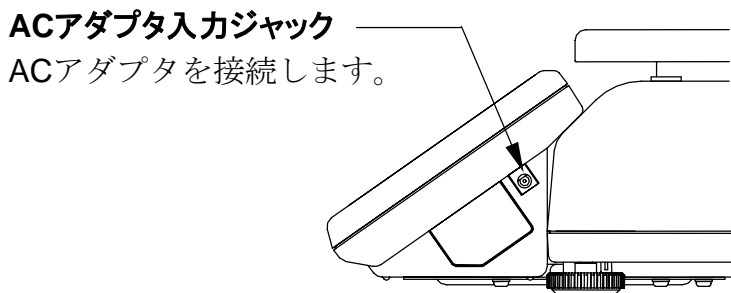
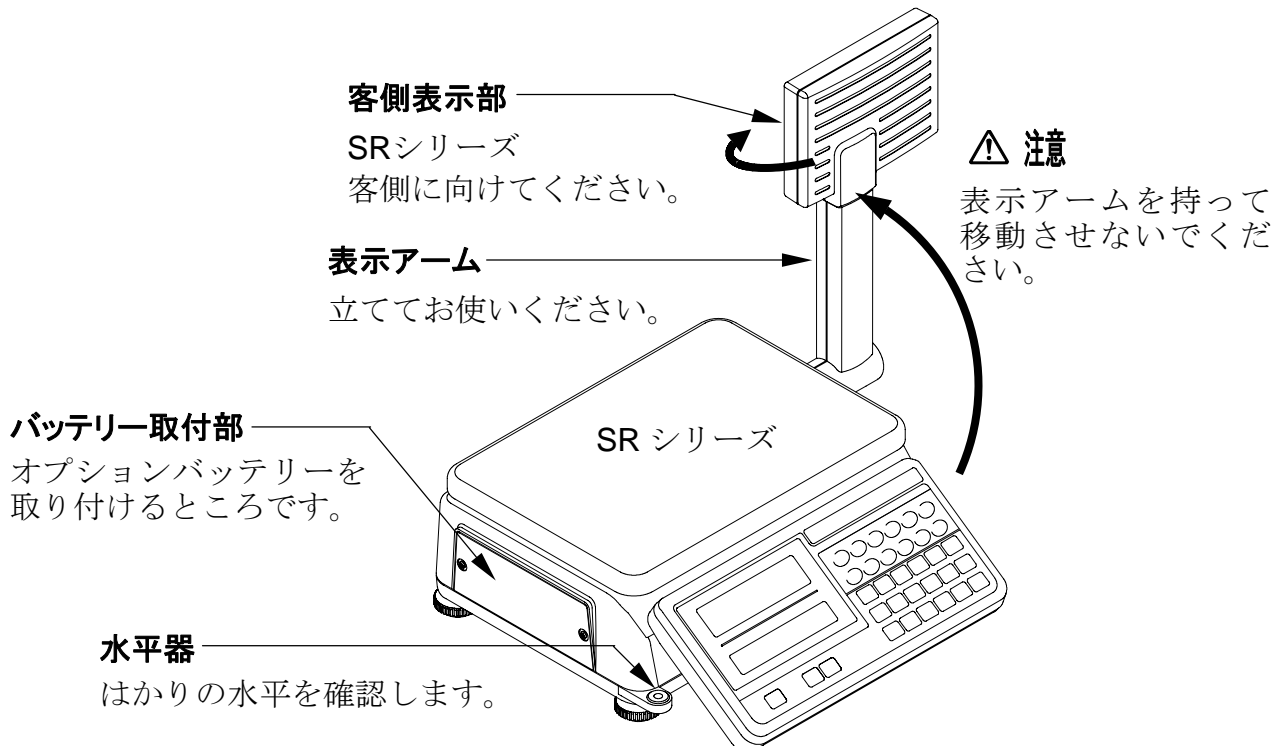
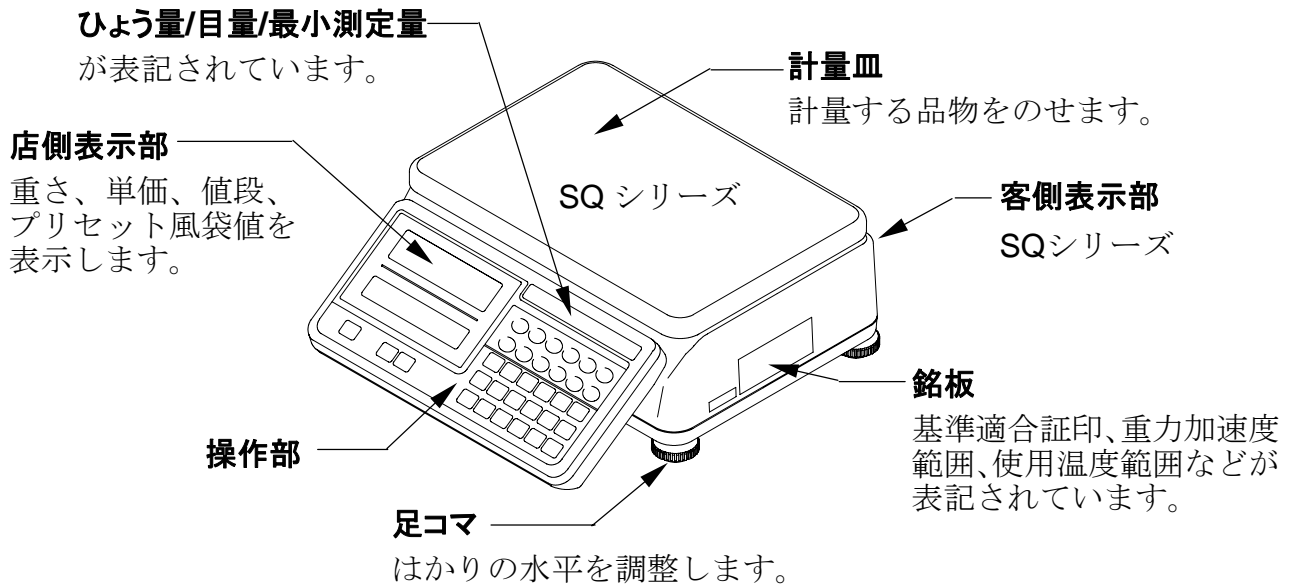
取扱説明書
SQ/SR シリーズ

計量皿の下にある緩衝材を取り除いてください（他の場所にはかりを輸送する場合は、この緩衝材をもとのように計量皿の下に入れてください）。

SR シリーズの客側表示部は、表示アームを起し表示器を適当な向きに合わせてください（“1-3. 各部の名称” 参照）。

1-3. 各部の名称

客側表示部を除くと、SQ/SR シリーズ共通です。なお店側表示部を取り外して使うことはできません。



1-4. 設置

⚠注意 1. はかりを平らな場所に設置し、足コマを回して水平器の気泡が円の中央に位置するよう調整してください。

2. AC アダプタをコンセント（100V）に接続し、出力プラグを表示部側面の AC アダプタ入力ジャックに差し込みます。

⚠警告 □ 付属の AC アダプタ（TB-162A）以外は使用しないでください。

⚠警告 □ AC 100V 以外で使用しないでください。

3. **ON/OFF** キーを押すと電源が入ります。
全表示が点灯し、一度消灯後ゼロマークと共にゼロ表示となります。

4. もう一度 **ON/OFF** キーを押すと電源が切れます。

□ オートパワーオフ機能

重さゼロ表示が約5分間続いたとき、自動的に電源を切ることができます。このオートパワーオフ機能を使うためには、“内部設定 **F I**”を“**I**”に設定してください。

⚠注意

正確な計量のために

□ 水平器により、はかりが水平に設置されていることを確認してください。

□ 計量に最も適した温湿度範囲はおおよそ **20°C～25°C / 50%～60%**です。また、温度変化の大きいところは避けてください。

□ ほこりの多い場所や、湿度の高いところは避けてください。

□ しっかりした台の上で計量してください。

□ ヒーターやエア・コンディショナーの近くには設置しないでください。

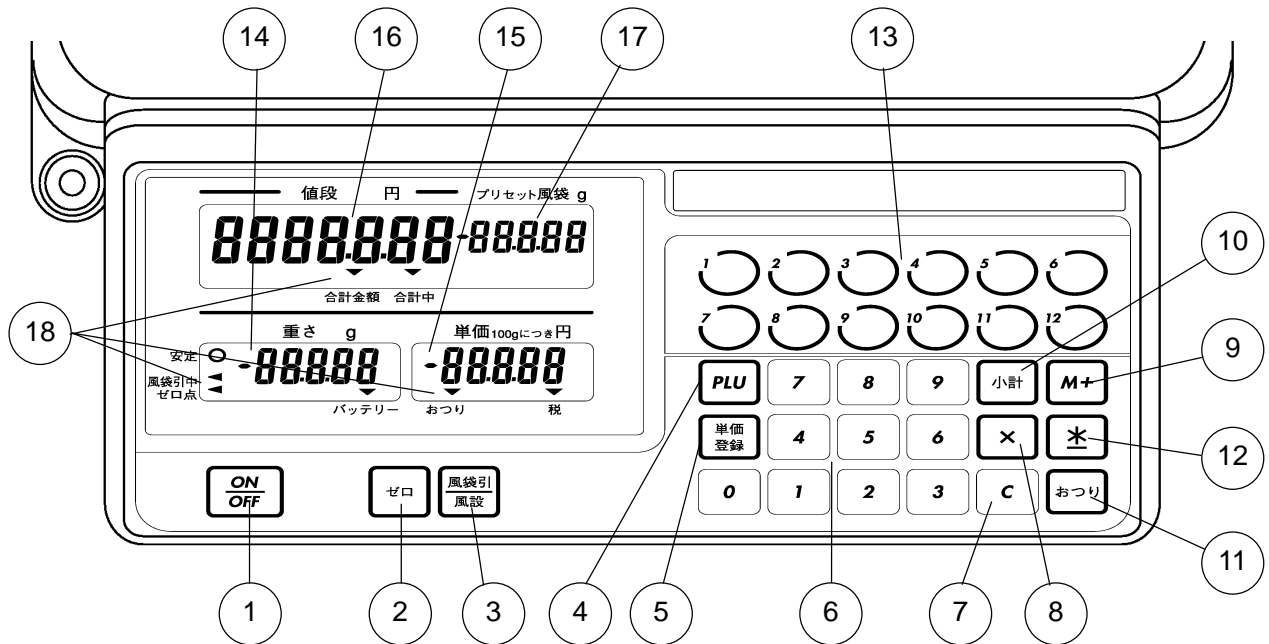
□ 直射日光のあたる場所は避けてください。

□ 電氣的なノイズを発生しやすい機器とはできるだけ離し、安定した AC 電源に接続してください。

□ 磁気を帯びたものや機器から離して設置してください。

□ 使用開始の30分前には電源を入れることを推奨します。

1-5. 操作パネル



- | | |
|-------------|---|
| ① ON/OFF | 電源スイッチ。1回押すとオン、もう一度押すとオフします。 |
| ② ゼロキー | はかりのゼロ点がずれたとき、ゼロ点に戻します。 |
| ③ 風袋引/風設キー | 実際の風袋量あるいは既知の風袋量を設定するとき使います。 |
| ④ PLUキー | PLUメモリー内の単価の呼び出しや、記憶に使います。 |
| ⑤ 単価登録キー | PLUメモリーに単価を記憶させるときに使います。 |
| ⑥ テン・キー | 単価、PLUメモリーNo.、既知風袋量などを入力する数字キーです。 |
| ⑦ Cキー | 操作の取り消しや単価クリア、入力した数値のクリアなどに使います。 |
| ⑧ ×キー | 定額商品の単価に対し個数をかけ算します。 |
| ⑨ M+キー | 表示された金額を加算します。 |
| ⑩ 小計キー | 税込みで小計金額(加算された金額)を税額と共に表示します。 |
| ⑪ おつりキー | 小計金額表示で預かり金額を入力した後おつりを計算・表示します。 |
| ⑫ *キー | 小計金額表示やおつり表示で、すべてを消去、初期状態に戻します。 |
| ⑬ PLUメモリーキー | PLUメモリーNo. 1 から 12 の単価を直接呼び出すキーです。 |
| ⑭ 重さ表示 | 商品の重さを表示します。 |
| ⑮ 単価表示 | 商品の単価を表示します。 |
| ⑯ 値段表示 | 商品の金額を表示します。 |
| ⑰ プリセット風袋表示 | 既知風袋量(プリセット風袋)を登録したとき、その値を表示します。 |
| ⑱ 状態表示 | |
| 安定 | 計量値が安定しているとき点灯します。 |
| 風袋引中 | 風袋引き中に点灯し、正味の重さが表示されていることを示します。 |
| ゼロ点 | はかりがゼロ点にあることを示します。 |
| 合計金額 | 金額の合計値を表示しているとき点灯します。 |
| 合計中 | M+ キーによる金額の加算値があるとき点灯します。 |
| おつり | おつりの金額を表示しているとき点灯します。 |
| 税 | 税額を表示しているとき点灯します。 |
| バッテリー | オプションバッテリーで動作中、バッテリー電圧が低下し充電時期が近づくと点灯します。 |

2. はかりとしての基本的な操作

2-1. 電源オン/オフ

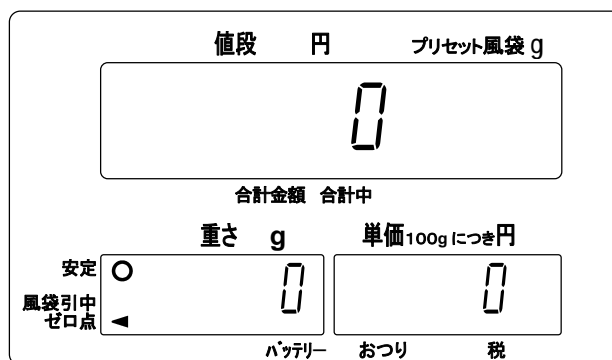
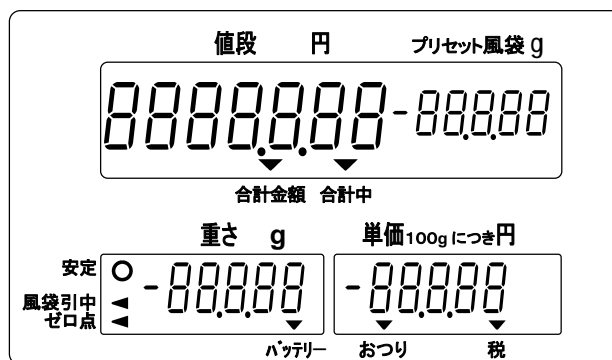
1. **ON/OFF** キーを押すと全表示が点灯し、一度表示が消灯した後、はかりは自動的にゼロ点を取り重さゼロの表示になります（パワーオンゼロ）。

- この間、計量皿には何ものせないでください。ひょう量の約±10%の範囲外の状態では電源オンにすると、ゼロ表示にならず重さ表示部が“-----”となります。計量皿上のものを除くか、計量皿に何か触れていないかなどを確認してください。

2. もう一度 **ON/OFF** キーを押すと電源が切れます。

- オートパワーオフ機能

ゼロ表示が約5分間続くと自動的に電源が切れる機能を使うこともできます。“内部設定 F1”を“1”に設定してください。



2-2. ゼロ

ゼロ キーを使って、はかりのゼロ点を合わせる操作です。

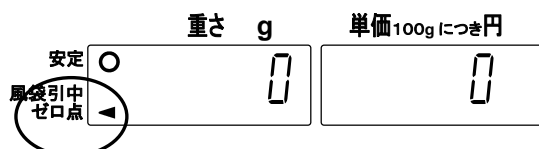
- **ゼロ** キーの有効範囲は、電源オン時のゼロ点を中心にひょう量の約±2%内です。

1. 計量皿の上のものをすべて取り去り、重さ表示が安定していることを確認してから

ゼロ キーを押してください。

- 重さ表示が変動しているときは、**ゼロ** キーは無効です。

2. 重さ表示がゼロとなり、はかりがゼロ点にあることを示す、ゼロ点マークが点灯します。



- “ゼロトラッキング” と呼ばれ、ゼロ点の微小な変化に自動的に追従する機能があります。通常、この機能が働く状態で出荷されています（内部設定 F14 参照）。

2-3. 風袋引き

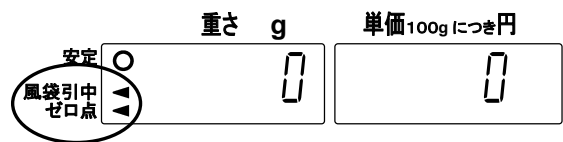
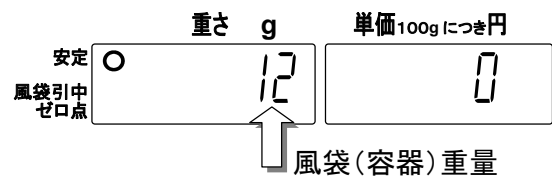
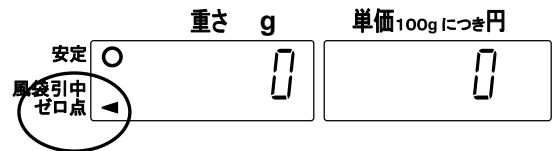
風袋引き可能な重さはひょう量の約 1/2 (SQ/SR15K は 2/5) までです。詳細は“8-1. 仕様”で確認してください。

風袋引きの操作には以下の二通りの方法があります。

- 実際の風袋（容器）の重さを差し引く。
- 既知の風袋量の値をテン・キーで直接入力する。

実際の容器の重さを風袋引きする

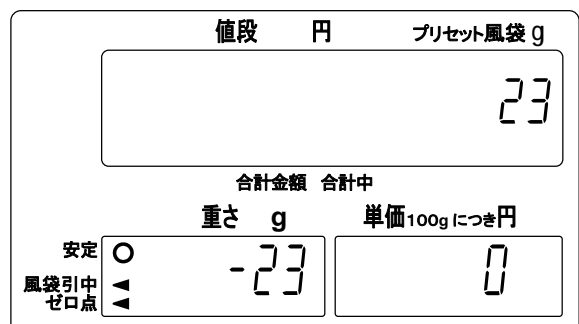
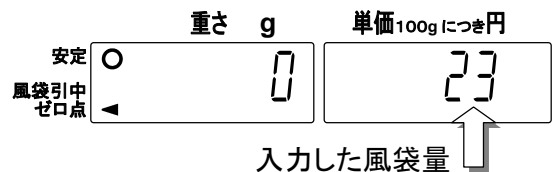
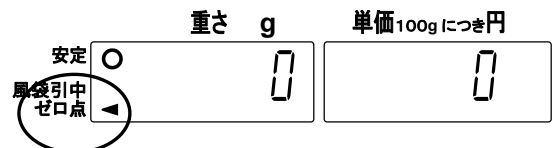
1. 計量皿の上のものをすべて取り去り、
ゼロ キーを押してゼロを取ります。
2. 風袋（容器）を計量皿の上ののせると、
その重さが表示されます。
3. 重さ表示が安定していることを確認して
風袋引/風設 キーを押します。はかりは
風袋量を差し引いた正味重量の表示となります。正味重量表示では、風袋引中マークが点灯します。



- 重さ表示が変動しているときは、**風袋引/風設** キーは無効です。
- 風袋引き後、風袋量を減らす方向に連続して風袋引きはできません。その場合、一度風袋引きを解除してください（次ページ参照）。

既知の風袋量をテン・キーで直接入力する

1. 計量皿の上のものをすべて取り去り、
ゼロ キーを押してゼロを取ります。
2. テン・キーを使って風袋重量の値を入力
します。
(右図は風袋量 23g の例)
3. **風袋引/風設** キーを押すと、はかりは
風袋量を差し引いた正味重量の表示となります。正味重量表示では、風袋引中マークが点灯します。



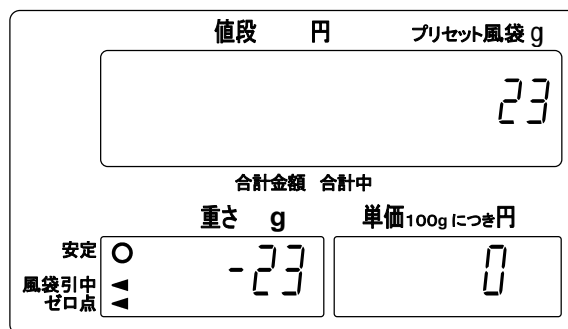
風袋引きを解除する

1. 計量皿の上のものをすべて取り去ります。

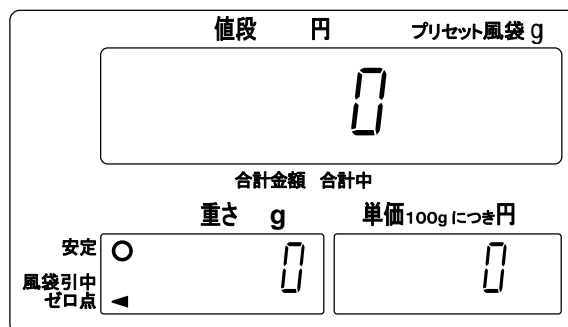
2. 重さ表示が安定していることを確認して、**ゼロ** キーを押します。

ゼロが取られるとともに風袋引きは解除されます。

□ ステップ 1 でゼロ点に戻った状態（ゼロ点マーク点灯）で、**風袋引/風設** キーを押すことでも風袋引きは解除されます。



ゼロ を押す ▼



3. 操作方法

3-1. 料金を計算する

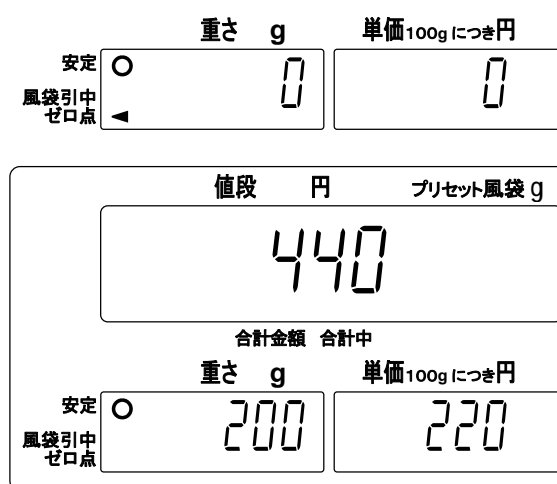
重さをはかって料金を計算する方法には以下の三通りの方法があります。

- テン・キーで単価を入力する。
- PLUメモリーキーに登録された単価（PLUメモリーNo. 1~12）を呼び出す。
- PLUメモリーNo.を入力してあらかじめ登録された単価を呼び出す。

入力あるいは呼び出した単価は、**C** キーを押せばクリアすることができます。また、製品出荷時の状態では、商品を計量/料金計算し計量皿からおろすと単価は自動的にクリアされます。自動的にクリアしない使い方の場合は、“内部設定 F5” を“0” に設定してください。

テン・キーによる単価入力

1. 計量皿の上のものをすべて取り去り、**ゼロ** キーを押してゼロを取ります。
2. 風袋（容器）がある場合、計量皿にのせて重さ表示が安定したら **風袋引/風設** キーを押してゼロ表示にします。
3. 商品を計量皿あるいは容器の中に置き、テン・キーで単価を入力すると、値段表示部に料金が表示されます。安定マーク点灯を確認して値を読み取ってください。

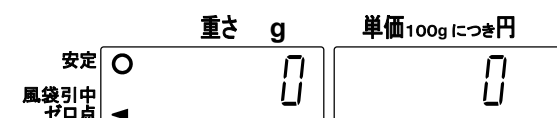


- 単価は最後の数字を入力後約 3 秒で入力値として確定し、ブザーがピッと鳴ります。確定前の入力は前の数字に続きますが、確定後は単価再入力となります。
- 商品の計量/料金計算するのに単価確定を待つ必要はありません。
- 単価は商品をのせる前に入力することも可能です。

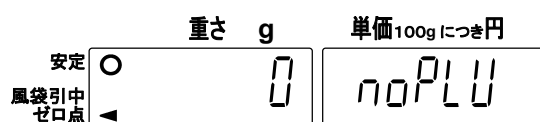
PLUメモリーキーで単価を直接呼び出す

- この操作を行うためには、あらかじめPLUメモリーNo. 1~12 に単価が登録されている必要があります。“4-1. PLUメモリー設定”を参照してください。

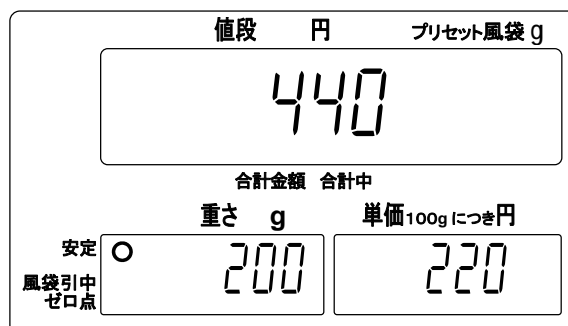
1. 計量皿の上のものをすべて取り去り、**ゼロ** キーを押してゼロを取ります。
2. 風袋（容器）がある場合、計量皿にのせて重さ表示が安定したら **風袋引/風設** キーを押してゼロ表示にします。
3. 商品に該当するPLUメモリーキーを押すと、単価が呼び出されます。



- 該当PLUメモリーに単価が登録されていないと、ブザー音と共に単価表示部に“noPLU”が一時的に表示され元の表示に戻ります。



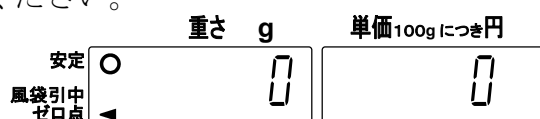
- 商品を計量皿あるいは容器の中に置くと、値段表示部に料金が表示されます。安定マーク点灯を確認して値を読み取ってください。



PLUメモリーから単価を呼び出す

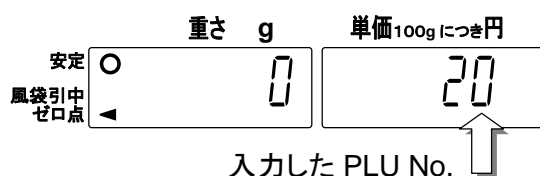
- この操作を行うためには、あらかじめPLUメモリーNo. 1~500に単価登録が必要です。“4-1. PLUメモリー設定”を参照してください。

- 計量皿の上のものをすべて取り去り、**ゼロ** キーを押してゼロを取ります。

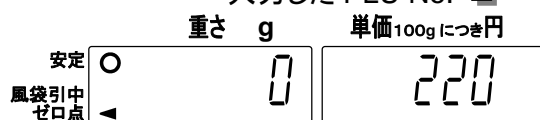


- 風袋(容器)がある場合、計量皿にのせて重さ表示が安定したら **風袋引/風設** キーを押してゼロ表示にします。

- テン・キーで商品に該当するPLUメモリーNo. (例は PLU No. 20) を入力します。

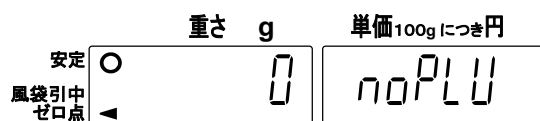


- PLU** キーを押すと、入力したPLUメモリーNo.に記憶された単価が呼び出されます。



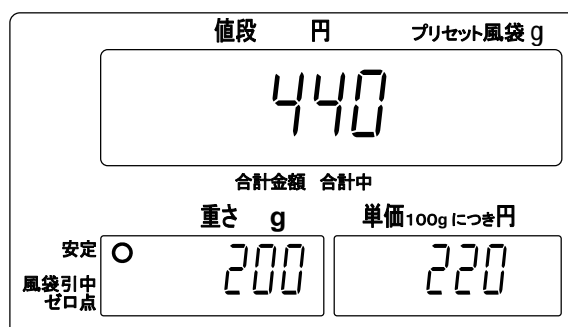
- **PLU** キーは、PLUメモリーNo.入力に引続き3秒以内に押してください。3秒経つと、ブザーがピッと鳴り単価として確定してしまいます。その場合、改めてPLUメモリーNo.の入力から操作してください。

- 該当PLUメモリーに単価が登録されていないと、ブザー音と共に単価表示部に“noPLU”が一時的に表示され元の表示に戻ります。



- PLUメモリーNo.501以上を入力すると、ブザーが鳴ってもとの表示に戻ります。

- 商品を計量皿あるいは容器の中に置くと、値段表示部に料金が表示されます。安定マーク点灯を確認して値を読み取ってください。



3-2. 料金の加算 / おつり計算

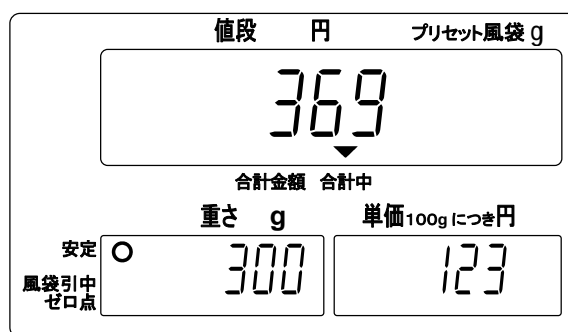
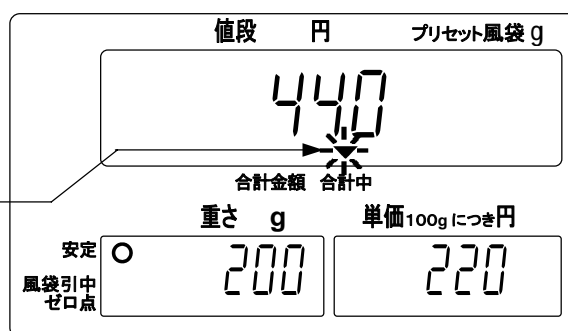
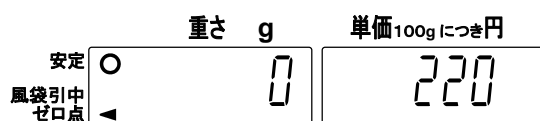
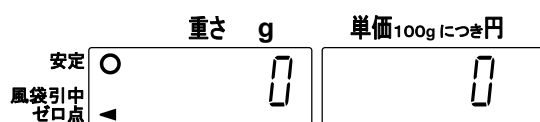
はかりには、複数商品の金額を加算（合計）し、合計金額を表示したりお客から預かった金額に対しておつりを計算したりする機能があります。また、加算対象には値段の決まった商品（定額商品）を含めることも可能です。

- 表示が変動し、安定マークが点灯していない時は加算できません（**M+** キーを受け付けません）。また、重さ表示が最小測定量（“8-1. 仕様”参照）以上でないと加算できません。
- 一度加算した金額を二重に加算することはできません。
- 加算した合計金額は最大で 9999999 円です。加算の結果これを超えるような場合は加算できません（**M+** キーを受け付けません）。
- 単一の商品に対しておつり計算する場合も **M+** キーで一回の加算を行ってください。

おつり計算しない場合

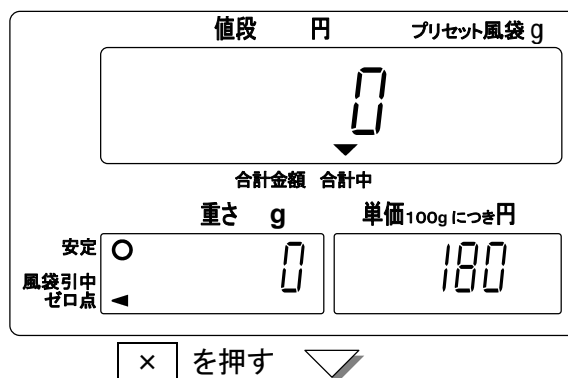
- 1 人のお客が、単価 220 円のもの 200g、PLU No. 1 に単価 123 円が登録された商品 300g、定額商品 180 円のもの 1 個を買ったときの例です。消費税は内税で 5% の場合です。

1. 計量皿の上のものをすべて取り去り、**ゼロ** キーを押してゼロを取ります。
2. テン・キー **2** **2** **0** を押します（単価の入力）。
3. 商品 200g を計量皿にのせると、料金が表示されます。
4. **M+** キーを押すと、ブザー音（長音）と共に合計中マークが点滅して料金が加算され、合計中マークは点灯状態になります。
5. 商品を計量皿からおろし、PLUメモリーキー No. 1 を押します。商品 300g をのせると料金が表示されます。
6. **M+** キーを押すと、ブザー音（長音）と共に合計中マークが点滅して金額が加算され、合計中マークは点灯状態になります。



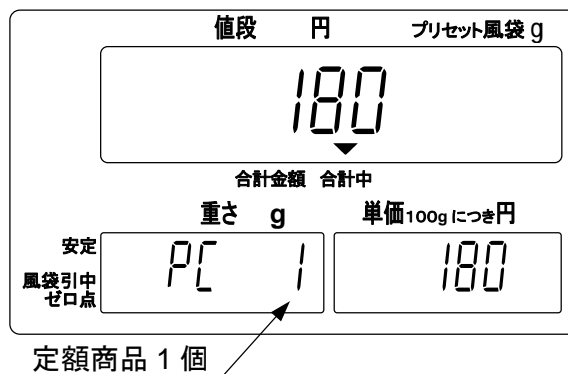
7. 商品を計量皿からおろし、テン・キー

1 **8** **0** を押します（定額商品の値段の入力）。



8. **x** キーを押すと、定額商品の値段表示になります。

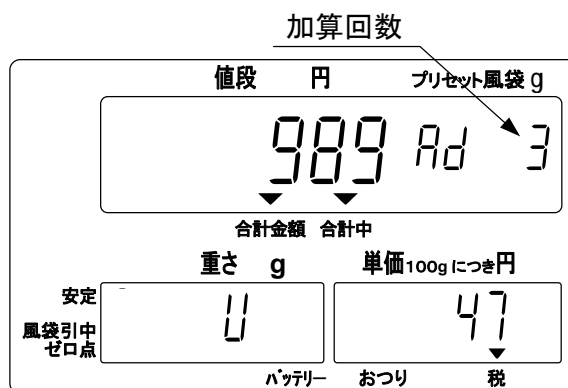
- 複数個の定額商品の例は“3-3. かけ算機能”を参照してください。
- 定額商品ははかりがゼロ点にあるときのみ扱うことができます。
- 定額商品の加算を中止する場合、**C** キーを押せば元の表示に戻ります。



9. **M+** キーを押すと、ブザー音（長音）と共に合計中マークが点滅して金額が加算され、合計中マークは点灯状態になります。

10. **小計** キーを押すと、上記 3 点の合計金額（税込み）を値段表示部、税額を単価表示部、内税/外税の記号を重さ表示部にそれぞれ表示します。プリセット風袋表示部には、加算回数を表示します。

U 内税
H 外税



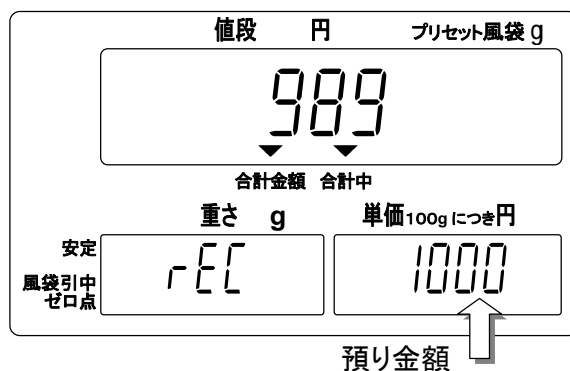
- 引続き他の商品を加算させる場合は、もう一度 **小計** キーを押せば継続可能です。

11. 上記合計表示中に ***** キーを押すと、合計金額、加算回数は消去され初期状態の表示（ステップ 1）に戻ります。

注意 □ 加算データは電源を切ると消去されます。

おつり計算する場合

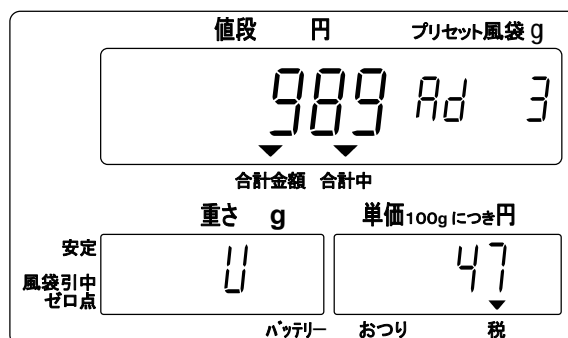
- 前項ステップ 10 までの操作は同じです。以下はその続きとなります。
- 1. お客からの預かり金額をテン・キーで入力します。預かり金額は単価表示部に表示されます。
- 預かり金額を変更する場合は、**C** キーを押して再入力してください。
- 商品一点の場合も、**M+**、**小計** キーを押してステップ 10 の表示にしてください。
- 2. **おつり** キーを押すと、おつりが単価表示部におつりマークと共に表示されます。
- ここで **C** キーを押せば、預かり金額入力待ちの状態に戻ります。
- 更に預かり金額入力待ちの表示で **小計** キーを押せば、前項ステップ 10 の表示に戻ります。もう一度 **小計** キーを押せば料金計算を継続できます。
- 3. ***** キーを押せば合計金額、加算回数は消去され初期状態の表示に戻ります。



加算した金額の消去

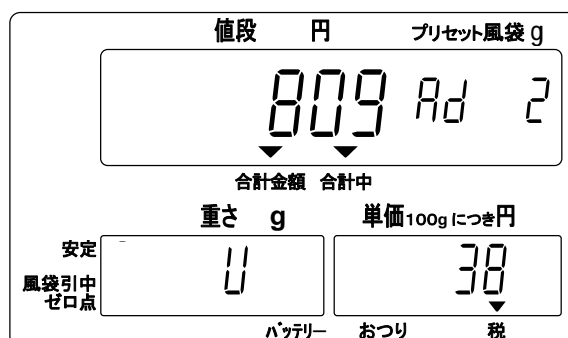
□ **M+** キーを使って加算した金額のうち、最後の一回分を消去することができます。

1. □ **小計** キーを押してそれまでの合計金額を表示させます。



2. ここで □ **C** キーを押しながら □ **M+** キーを押すと、最後に加算した金額を消去します。

3. □ **小計** キーを押すと計量状態に戻り、料金計算を継続できます。



3-3. かけ算機能

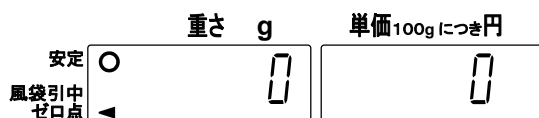
1 人のお客に一つの定額商品を複数個販売するとき、**[×]** キーを使って個数を入力し、単価×個数の合計金額を出すことができます。

□ 入力できる個数は、最大 **999** 個までです。また、値段表示可能な金額は最大 **7** 桁です。また、単価の最大は **99999** 円です。

□ かけ算の結果 **7** 桁を越える場合は、値段表示部に **“E”** が表示されます。

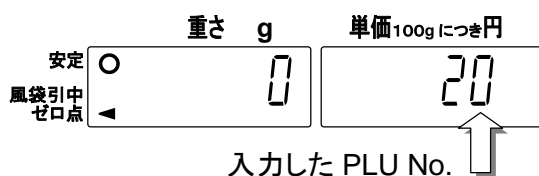
□ 1 人のお客が、PLUメモリーNo. **20** から呼び出した定額 **220** 円のを **3** 個買って **700** 円を預かったときの例です。消費税は内税で **5%** の場合です。

1. 計量皿の上のものをすべて取り去り、**[ゼロ]** キーを押してゼロを取ります。

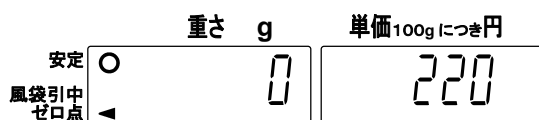


□ 定額商品は重量表示ゼロのときのみ扱うことができます。

2. テン・キー **[2]** **[0]** を押します（PLU No. **20** の入力）。

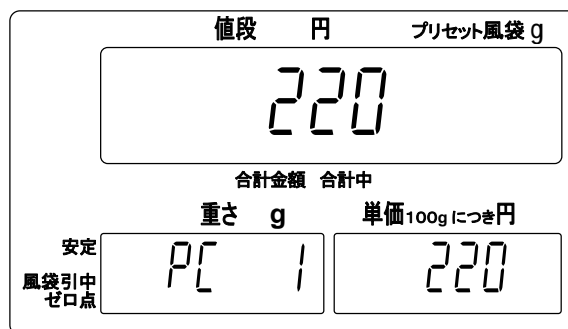


3. **[PLU]** キーを押すと、入力した PLU No. に記憶された単価が呼び出されます。



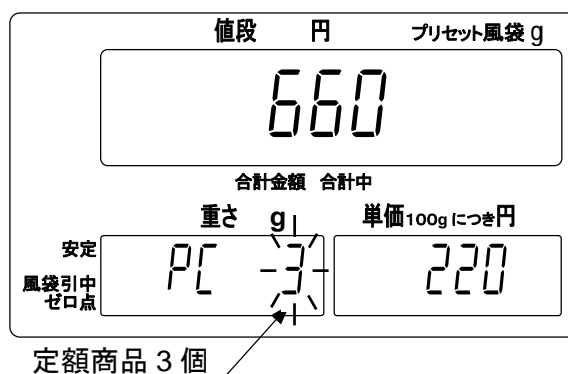
□ **[PLU]** キーは、PLUメモリーNo. 入力に引続き **3** 秒以内に押してください。3 秒経つと、ブザーがピッと鳴り単価として確定してしまいます。その場合、改めて PLUメモリーNo. の入力から操作してください。

4. **[×]** キーを押すと、定額商品 **1** 個の値段表示になります（初期値）。



5. 個数 **[3]** をテン・キーで入力すると、値段表示部に単価×個数の金額が表示されます。

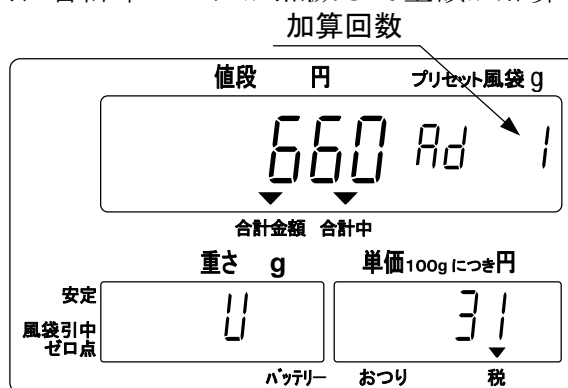
□ 入力した個数は点滅表示となり、約 **3** 秒後に個数確定となります。確定後も個数は再入力可能です。点滅中に **[C]** キーを押せば、最後に確定した個数に戻りますが、確定後に押した場合は、初期状態の表示（ステップ 1）に戻ります。



6. **M+** キーを押すと、ブザー音（長音）と共に合計中マークが点滅して金額が加算され、合計中マークは点灯状態になります。

7. **小計** キーを押すと、合計金額（税込み）を値段表示部、税額を単価表示部、内税/外税の記号を重さ表示部にそれぞれ表示します。プリセット風袋表示部には、加算回数を表示します。

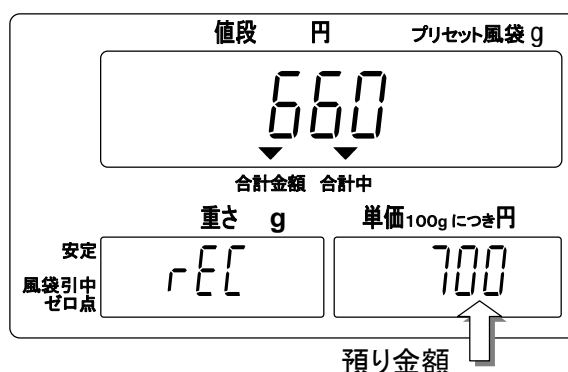
U 内税
H 外税



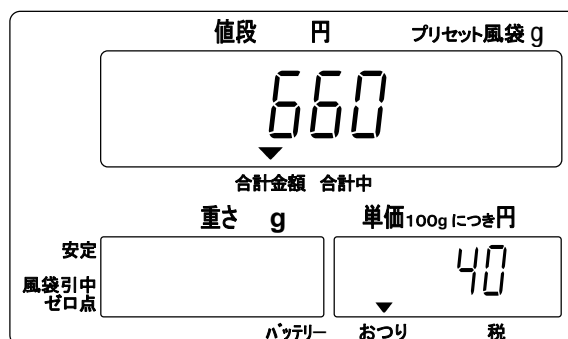
- 引続き他の商品を加算させる場合は、もう一度 **小計** キーを押せば継続可能です。

8. お客様からの預かり金額 700 円をテンキーで入力します。預かり金額は単価表示部に表示されます。

- 預かり金額を変更する場合は、**C** キーを押して再入力してください。



9. **おつり** キーを押すと、買い上げの合計金額、おつりが表示されます。おつりが、単価表示部におつりマークと共に表示されます。



10. ***** キーを押せば合計金額、加算回数は消去され初期状態の表示に戻ります。

4. 各種設定方法

4-1. PLUメモリー設定

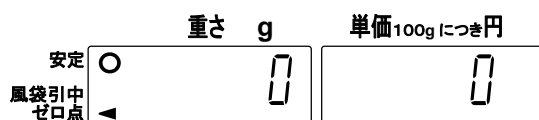
PLUメモリーに単価を記憶させます。

- PLUメモリーは最大 500 個 (No.1~500) の単価を記憶することができます。
- PLUメモリーキーの 12 個はPLUメモリーNo. 1~12 と同じです。

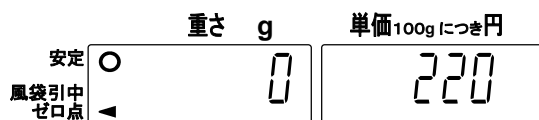
PLUメモリーNo. 1~12 に記憶させる

□ PLUメモリーキーを使ってPLUメモリーNo. 1 に単価 220 円を設定する例です。

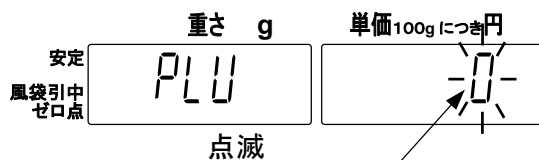
1. 初期状態の表示です。



2. テン・キー **2** **2** **0** を押します (単価の入力)。

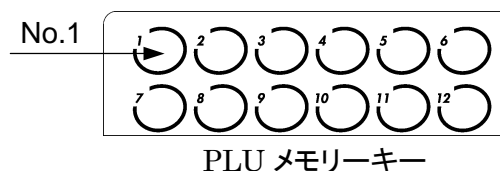


3. **単価登録** キーを押すと、PLU No.入力の表示となります。



□ ここで **単価登録** キーを押せばステップ 2 に戻ります。

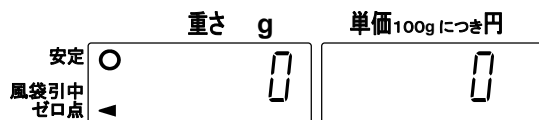
4. PLUメモリーキーの No.1 を押してください。ブザーが鳴って (長音) PLUメモリーNo.1 に単価を記憶し、ステップ 2 の表示に戻ります。**C** キーで単価表示をクリア後、PLUメモリーキーNo.1 を押して正しい単価が呼び出されることを確認してください。



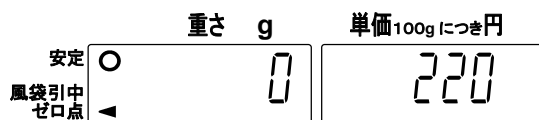
PLUメモリーNo. 1~500 に記憶させる

□ PLUキーを使ってPLUメモリーNo. 100 に単価 220 円を設定する例です。

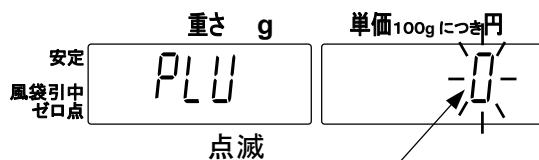
1. 初期状態の表示です。



2. テン・キー **2** **2** **0** を押します (単価の入力)。



3. **単価登録** キーを押すと、PLU No.入力の表示となります。



4. テン・キー **1** **0** **0** を押し、PLU No. 100 を入力します。



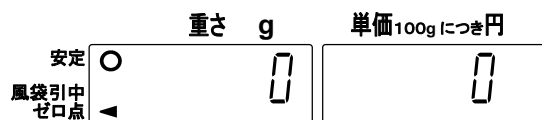
5. **PLU** キーを押すと、ブザーが鳴って（長音）PLUメモリーNo.100に単価を記憶し、ステップ2の表示に戻ります。**C** キーで単価表示をクリア後、テン・キー **1** **0** **0** に引続き **PLU** キーを押して正しい単価が呼び出されることを確認してください。

- PLU No.1～500 以外の数字を入力して **PLU** キーを押した場合は、ステップ4の状態から先に進みません。正しいPLU No.を入力し直すか、**単価登録** キーを押してステップ2に戻ってください。

設定のクリア

PLUメモリーに記憶された単価を消去する場合は、単価0円を記憶させてください。

1. 初期状態の表示です。単価表示部がゼロでない場合は、**C** キーでクリアします。



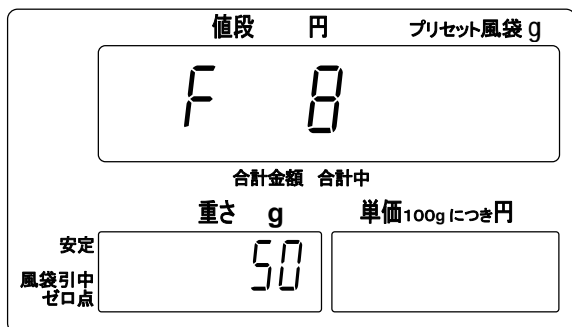
2. 前項あるいは前々項のステップ3以降に従って、単価0円を記憶させます。単価設定をクリアしたPLUメモリーに対して単価呼び出しを行うと、“noPLU”が表示されることを確認してください。

4-2. 消費税率の設定

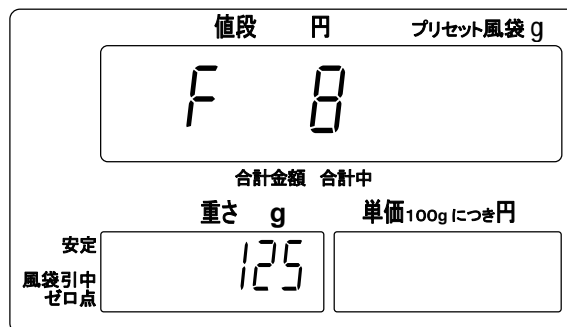
消費税率が変わった場合は、表示部のキー操作で変更ができます。

変更後の税率は、“5. 内部設定”の操作に従って、“FB”にて設定してください。

出荷時は5.0%に設定されています。



税率12.5%の表示



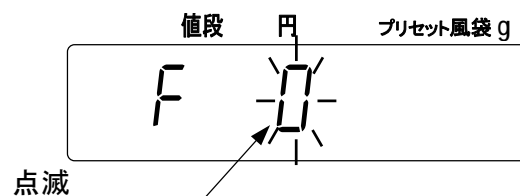
5. 内部設定

内部設定は、はかりの動作方法を指定する項目を閲覧したり変更したりする機能です。各項目の内部設定の値は、変更後も電源を切っても記憶されています。

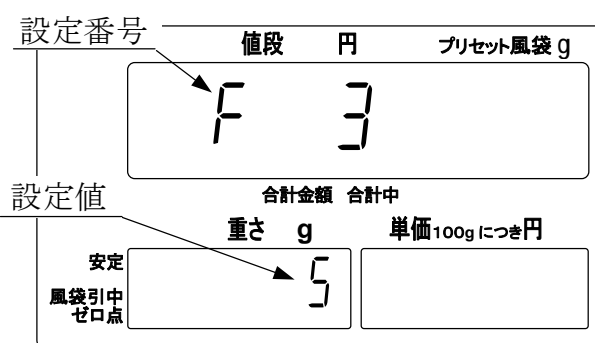
5-1. 内部設定を変更する/確認する

□ 電源オフからはじめます。

1. **ゼロ** キーを押しながら **ON/OFF** キーを押します。



2. テン・キーで変更/確認したい内部設定の番号を入力し、**単価登録** キーを押すと、現在の設定値が、重さ表示部に表示されます。

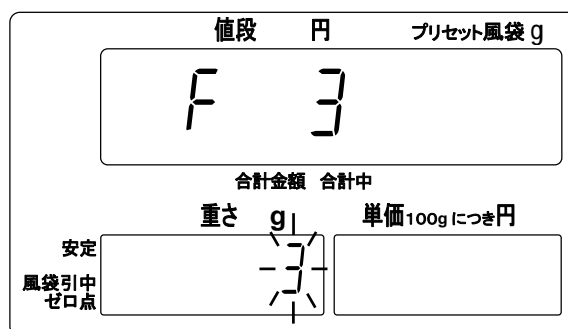


- **C** キーを押すとステップ1の表示に戻り、番号を入れ直すことができます。

3. テン・キーで設定値を入力すると入力した値が点滅表示になります。

- 設定値の確認のみの場合は **ON/OFF** キーで電源を切るか、設定値を入力せずに次のステップに進みます。

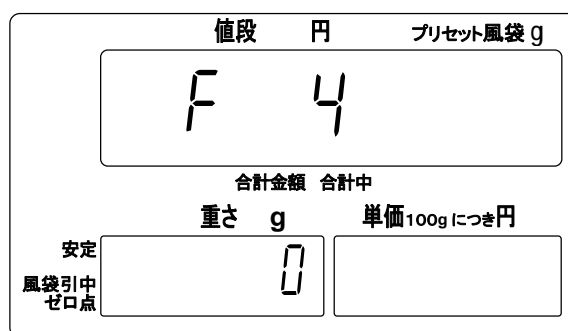
- **C** キーを押すと、入力した値は元に戻ります。



4. **単価登録** キーを押すと、新たな設定値が記憶され次の内部設定番号に進みます。

- 範囲外の設定値を入力した場合は、先に進みません。再入力するか電源を切ってください。


5. 同様、設定値の変更あるいは確認をします。



6. 必要な設定を変更/確認したら **ON/OFF** キーで電源を切り、再度電源を立ち上げててください。新しい設定が有効になります。

- 最後の内部設定番号で **単価登録** キーを押すとステップ1の表示に戻ります。

5-2. 内部設定一覧

設定項目	設定値	内容・用途	
オートパワーオフ機能	◆ F 1 0	オートパワーオフ機能停止	自動的に電源を切る機能
	F 1 1	オートパワーオフ機能働く (約5分)	
ブザー音	F 2 0	鳴らない	キー操作などのブザー音
	◆ F 2 1	鳴る	
バックライト	F 3 0	常時消灯	質量変化、キー操作があればバックライト点灯
	F 3 1	表示安定約5秒後に消灯	
	F 3 2	表示安定約10秒後に消灯	
	F 3 3	表示安定約15秒後に消灯	
	F 3 4	表示安定約30秒後に消灯	
	◆ F 3 5	常時点灯	
内部使用	◆ F 4 0	0のままとしてください。	
単価の自動クリア 注1)	F 5 0	単価は C キーでクリア	自動クリアする/しないの設定
	◆ F 5 1	計量後重さが最小測定量以下に戻ったら自動でクリア	
金額計算の演算処理	◆ F 6 0	切り捨て	小数点以下の処理
	F 6 1	四捨五入	
	F 6 2	切り上げ	
消費税計算の演算処理	◆ F 7 0	切り捨て	
	F 7 1	四捨五入	
	F 7 2	切り上げ	
消費税の税率	◆ F 8 ###	税率設定。0~999 入力可能で##.##%を表す。出荷時50 (=05.0%)。	0.1%単位で設定可能
消費税表示方法	F 9 0	外税 (税抜き) 表示	
	◆ F 9 1	内税 (税込み) 表示	
内部使用	◆ F 10 92	92のままとしてください。	
内部使用	◆ F 11 0	0のままとしてください。	
内部使用	◆ F 12 0	0のままとしてください。	
内部使用	◆ F 13 0	0のままとしてください。	
ゼロトラッキング機能	F 14 0	ゼロトラッキング機能オフ	ゼロ点の変化を追尾する機能
	◆ F 14 1	ゼロトラッキング機能オン	
内部使用	◆ F 15 0	0のままとしてください。	
計量安定度 / 応答速さ	F 16 0	<div style="text-align: center;">  </div>	フィルタリング
	F 16 1		
	◆ F 16 2		
	F 16 3		
	F 16 4		
	F 16 5		

◆ 出荷時設定

注1) 定額商品の単価は、設定にかかわらず自動クリアされません。
最小測定量については“8-1. 仕様”を参照してください。

6. 鉛バッテリー

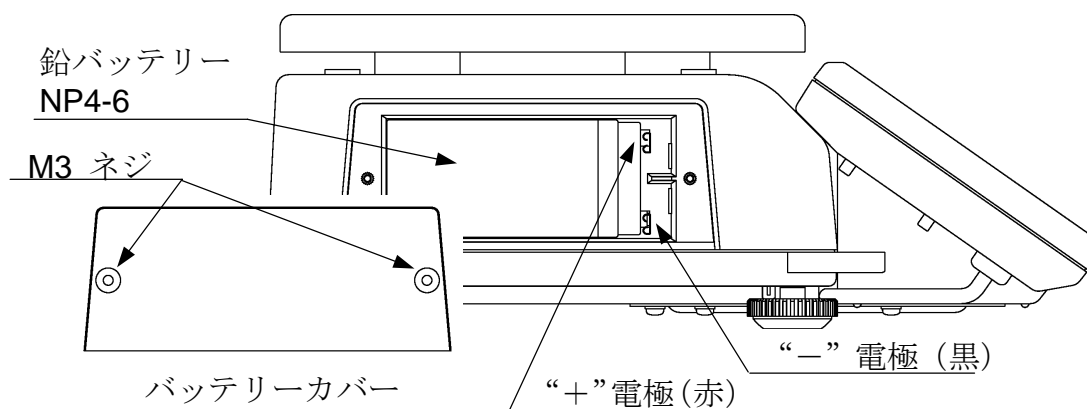
鉛バッテリーの取り付け

- SQ/SR シリーズは、市販されている鉛バッテリーで動作させることができます。
- フル充電後のバッテリーで約 50 時間の連続動作が可能です（はかり本体のみ）。
- 放電後、フル充電まで約 15 時間です。
- バッテリーの動作時間/寿命は、はかりの使われ方、周囲温度などに左右されます。



警告

- YUASA バッテリー NP4-6 (6V, 4Ah)をお使いください。
- 充電は必ず SQ/SR 付属の AC アダプタで行ってください。
- もしバッテリーを正しく接続しなかったり、タイプの異なるものを使ったりすると液漏れ・発火・破裂の原因となります。
- 使用済み電池の処理は、電池メーカー/販売店、産業廃棄物処理業者などにご相談ください。



- ⚠️ 注意 1. はかりから AC アダプタを抜いてください。
2. バッテリーカバーをとめている M3 ネジを緩め、カバーをはずしてください。
3. バッテリーボックス内のケーブルを電池に接続します。
- ⚠️ 警告 □ 赤のケーブルをプラスの電極 (+/ 赤) に、黒のケーブルをマイナスの電極 (-/ 黒) に間違いのないよう確実に接続してください。そうでないと液漏れ・発火・破裂の原因となります。
4. バッテリーボックスの中にバッテリーを入れ、ステップ 2 ではずしたネジでバッテリーカバーをとめてください。
5. **ON/OFF** キーを押して電源を入れ、はかりが正常に動作するかを確認してください。

鉛バッテリーを使う

⚠注意 □ 重さ表示部に“Lb”が表示されたときは、バッテリーが消耗しています。直ちに付属の AC アダプタを接続し、充電してください。

□ バッテリーマークの点灯は、バッテリー電圧が低下し始めたことを表します。正常な動作状態にあります。間もなく上記“Lb”が表示されます。はかりの使用を終了させるか、AC アダプタでの使用あるいは充電の準備をお願いします。

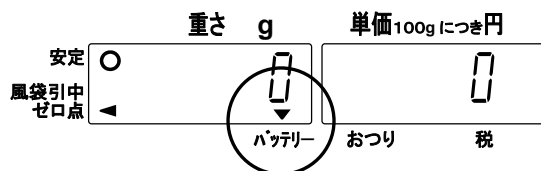
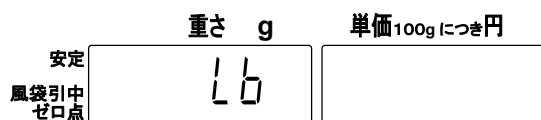
□ バッテリー充電中もはかりを使うことができます。フル充電後は、自動的にトリクル充電（補充電）に切り替わります。

□ 充電は 0°C～40°C の環境で行ってください。理想的には 5°C～35°C の範囲です。

□ バッテリー購入時は充電してからお使いください。

⚠注意 □ はかりを長期間使わないときも、バッテリーの特性上定期的に充電してください。3～6 ヶ月に一度は充電が必要です。暖かい地方ほど短い間隔での充電が必要となります。

⚠警告 □ AC アダプタは、必ず SQ/SR 付属の TB-162A をお使いください。他のアダプタを使うと、充電できないことがあるだけでなく、バッテリーの液漏れ・発火・破裂の恐れがあります。



7. 保守

7-1. お手入れ

1. 電源がオフになっていることを確認してください。
2. 本体や計量皿の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
3. 特に汚れが目立つ場合は、少量の水を含ませた柔らかい布でふき取ってください。

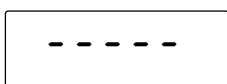
⚠警告 □ 水を直接かけたり、多量の水を含んだ布で清掃したりしないでください。内部に水が入ると機器が故障したり、火災や感電の恐れがあります。

⚠注意 □ シンナーやベンジンなどの有機溶剤や化学ぞうきんは使わないでください。本体の変色や変質の原因となります。

□ 計量皿に強い力や衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

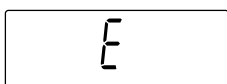
7-2. エラー表示

初期荷重エラー



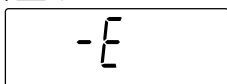
電源オン時に、ひょう量の約 **10%**以上のものがのったままのときや計量値が不安定なときに出るエラーです。計量皿に何かのついていないか、触れていないかを確認してください。風や振動などが無いことも確認してください(“1-4. 設置”の項参照)。

荷重超過エラー



計量値がひょう量を超えたときに出るエラーです。直ちに計量皿の上のものを取り除いてください。

荷重不足エラー

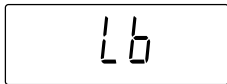


計量皿を取ったり、ゼロ点がマイナス方向に **20** 目量 (最小測定量相当) 以上ずれたりすると出るエラーです。

計量皿を正しくのせて、**ゼロ** キーを押してください。

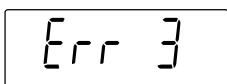
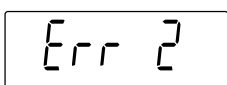
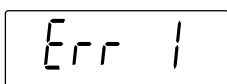
ゼロ キーが効かない場合は、一度電源を切ってください。

電圧低下エラー



バッテリー使用時、電池電圧が低下すると表示されます。直ちに充電してください。なお、AC 電源が下がりすぎた場合も表示されることがあります。

その他のエラー



内部的な計量状態のエラーです。

電源を入れなおしても症状が変わらない場合は、お買い求めの販売店、または弊社「製品の技術問い合わせ・修理の受付窓口」にお問い合わせください。

□ はかりを輸送するときは、収納してあった梱包材、梱包箱を使用してください。

8. 仕様

8-1. 仕様

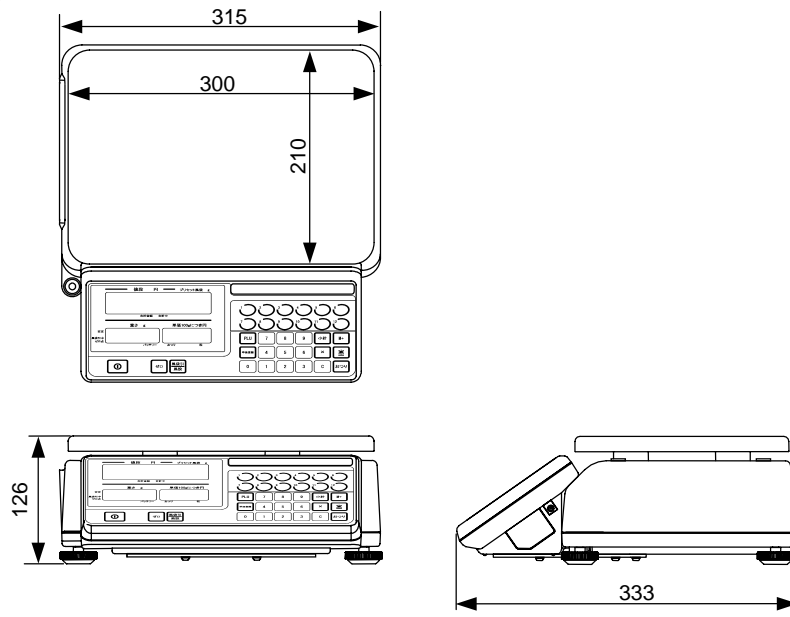
機種名	SQ-6K SR-6K	SQ-15K SR-15K	SQ-30K SR-30K
精度等級	3 級		
ひょう量	6 kg	15 kg	30 kg
目量	1g (0 ~ 3kg) 2g (3kg ~ 6kg)	2g (0 ~ 6kg) 5g (6kg ~ 15kg)	5g (0 ~ 15kg) 10g (15kg ~ 30kg)
最小測定量	20 g	40 g	100 g
最大風袋引量	2999 g	5998 g	14995 g
PLUメモリー	500 個までの単価を記憶可能		
表示	7 セグメント液晶表示バックライト付き、両面表示 文字高: 金額 15.2 mm、重さ/単価 11.6 mm、プリセット風袋 10.3 mm		
動作環境	0°C~40°C、85 % R.H. 以下 (結露しないこと)		
表示書換	約 10 回/秒		
電源	AC アダプタ (TB-162A 100V 50Hz/60Hz、約 10VA) または 鉛バッテリー (オプション) バッテリー連続使用時間 約 50 時間 (バックライトオフ)		
計量皿寸法	300×210 mm		
外形寸法	SQ シリーズ: 315 (W)×333 (D)×126 (H) mm SR シリーズ: 483 (W)×331 (D)×335 (H) mm		
製品重量	SQ: 約 5.2 kg SR: 約 5.9 kg	SQ: 約 5.8 kg SR: 約 6.5 kg	
標準付属品	取扱説明書、AC アダプタ (TB-162A)		

8-2. オプション

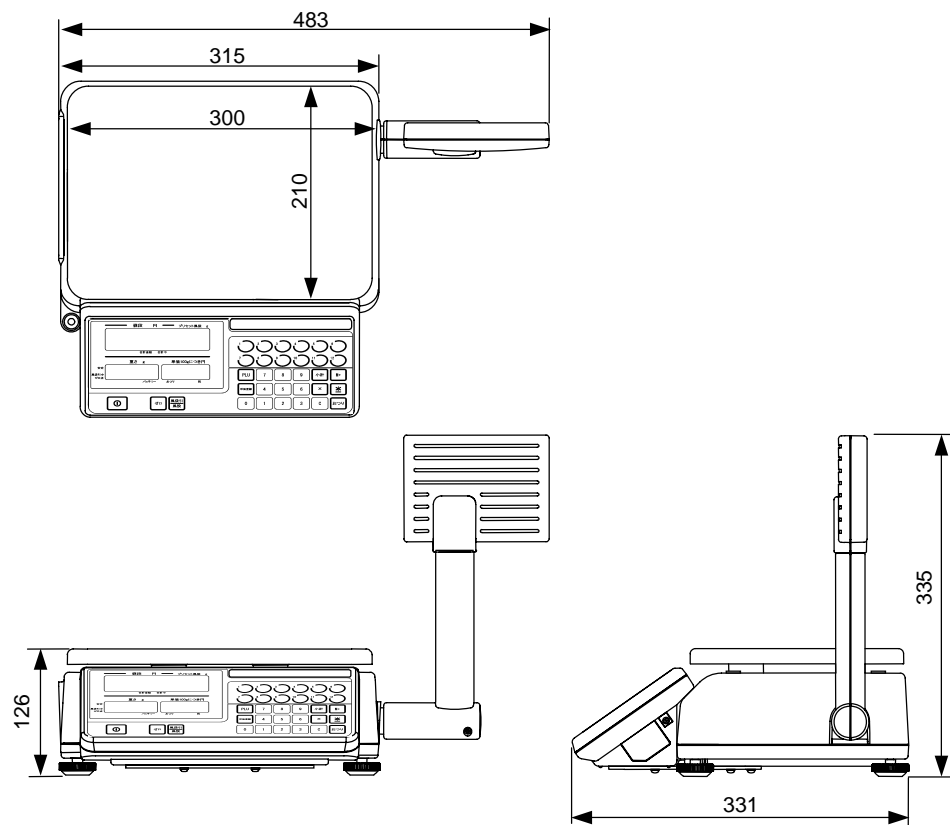
HC-02i 鉛バッテリー (推奨品 YUASA NP4-6)

8-3. 外形寸法図

SQシリーズ



SRシリーズ



9. 使用地域一覧

使用地域は、本体側面に貼られた銘板に重力加速度の範囲として表記されています。それぞれの範囲に属する都道府県／地方は下記一覧表を参照してください。

二つの重力加速度の範囲に記載されている地域は、どちらの範囲の機器でも使用することができます。たとえば、東京都(八丈・小笠原支庁を除く)の場合、下記地域番号「8」または「9」のどちらの機器も使うことができます。

地域番号	使用地域の表記 重力加速度の範囲	使用地域(都道府県)
1	9.804～9.807 m/s ²	道北(宗谷・上川・留萌)、道東(網走・根室・釧路)
2	9.803～9.806 m/s ²	道央(石狩・後志・空知)、道南(檜山・胆振・日高・渡島)、十勝
3	9.801～9.804 m/s ²	青森県、岩手県
4	9.800～9.803 m/s ²	宮城県、秋田県
5	9.799～9.802 m/s ²	宮城県、山形県
6	9.798～9.801 m/s ²	福島県、茨城県、新潟県
7	9.797～9.800 m/s ²	栃木県、千葉県、富山県、石川県、福井県
8	9.796～9.799 m/s ²	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(八丈・小笠原支庁を除く)、神奈川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9	9.795～9.798 m/s ²	東京都(八丈・小笠原支庁を除く)、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県
10	9.794～9.797 m/s ²	東京都(八丈・小笠原支庁に限る)、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県(薩摩地方に限る)
11	9.791～9.794 m/s ²	鹿児島県(薩摩地方を除く)
12	9.789～9.792 m/s ²	沖縄県